

## 総領事からの活動報告(4月後半)

平成 24 年 4 月 29 日

マイアミ日本総領事

川原英一

### パームビーチ戦略フォーラム

4 月 16 日、マイアミから車で 1 時間 30 分程北に位置するパームビーチ市で開催されたこのフォーラムには、フロリダ州内産業界からは元より、世銀、南米各国銀行関係者、伯の航空機製造企業エンブレア社等中南米の主要企業関係者、バルロッサ元伯在米大使、当地のカナダ・墨・伯総領事など、22 カ国から、約 1 千人が参加して、新興国との貿易投資関係などについてパネル会合がいくつも行われました。



特に、今年英国を抜いて世界第 6 位経済規模の伯は、フロリダ州の最大貿易相手国であることから、大いに注目されたのは、バルロッサ元伯在米大使やスコット・フロリダ州知事によるスピーチです。

(1)同大使は、①中国は、伯やチリとの貿易関係をみれば、米国に代わって最大貿易相手国となっており、中南米地域全体でも、プレゼンスが益々増大している、中国の対伯投資はエネルギー分野だけで150億ドルに達する、②自由貿易協定(FTA)が、メキシコ、チリ、ペルー、コロンビアなど太平洋沿岸の中南米諸国と中国・韓国・日本といったアジア諸国との間で増大傾向にある一方で、中南米諸国間の域内統合の動きは、止まっており、又、域内諸国間の貿易比率が他の地域と比べて相対的に低いとの指摘がありました。

(2)スコット・フロリダ州知事からは、①フロリダ州内のビジネスを促進するための環境づくりを今後も促進するので、ビジネス促進に役立つことなら、どんどん指摘をしてほしい、②ビジネスを進める上で障壁となる従来の州の諸規制を見直してきており、併せて州内人材育成のために、州予算が厳しい中でも、教育分野では前年度比10億ドル増の支出を承認した、③フロリダ州を来訪した観光客数が、昨年は、85百万人であり、州内の雇用創出に貢献している、④貿易投資促進のため、昨年の伯及びカナダへの経済使節団派遣に続いて、今年は、西、英、及び米国との間でFTAが今年 5 月から発効するコロンビアへのミッションを派遣予定との発言がありました。

### エグザバルFIU教授(中南米研究所長)他との懇談

4 月 20 日午後、フロリダ国際大学(FIU)中南米研究所長であるエグザバル教授(写真、左から二人目)と同じくFIUのパレ



ンテ・ビジネス経営学科準教授(右端)などと4月14、15日にコロンビアで開催された南北アメリカ首脳会議、4月9日のルーラ・伯大統領の訪米、米伯首脳会談などについて懇談しました。

中南米域内統合を見ておられる同所長からは、中南米諸国が地域毎に、いくつかのグループで対峙、分断する動きがみられ、①米国との関係が緊密なメキシコからコロンビアまでの北部地域諸国とメルコスールを中心として独自路線を取る南部地域諸国との間で対照的な動きがみられること、又、②自由貿易を積極的に推進するチリ・ペルーなど太平洋側諸国と保護主義的貿易が台頭しつつある大西洋側諸国グループの間で、相異なる動きが活発であり、中南米地域がいくつにも分断されているとの現状についての発言がありました。パレンテ準教授からは、伯自動車産業の話も伺いました。また、4月9日に米国を訪問したルセフ伯大統領の優先課題として、同所長は、③科学技術を専攻する伯学生を10万人規模で海外留学させる政府計画(「国境なき科学」)を進めることであり、米国トップ大学への留学を通じて、優秀な自国労働者を育成し、伯国内産業の国際競争力の強化に繋げること、④同国の港湾・空港など課題であるインフラ整備への投資促進であること、又、メディアによる報道が少なかったものの、訪米した機会に、⑤米伯両国が航空・宇宙・先端医療研究分野など、多くの分野での協力を合意し、両国産業界から歓迎されたことも注目すべきだ、と語っておられました。

#### フロリダ国際大学(FIU)図書館部長他との懇談



4月23日、フロリダ国際大学(FIU)プロブス図書館部長、コート政治科学部準教授と懇談する機会がありました。今年4月初めから、FIUの図書館前のスペースを展示のために提供を受けて、東日本大震災から復興する日本に関する写真ギャラリーを4週間の予定で実施中です。同復興写真展に協力して頂いたプロブス部長(写真:真中の方)及びフルブライト講師派遣事業により、数年前、東北大学で1年間講師として活躍されたコート准教授とお話できました。同准教授は、これまでも立命館大学、関西大学などの大学教員と交流されておられる様子でした。今後、日本関係の文化・展示事業について、御二方の御支援をお願いし、御快諾を得ました。(了)